

# たんぽぽだより



2023年 6月号

6月は『いのちを考える月間』になっています。

佐世保市で19年前に起こった子どもによる悲しい事件、そしてその前年にも長崎市で子どもによる事件が起こったことにより始まりました。

たんぽぽの子ども達に“いのち”を伝える事はとても難しい事です。例えばダンゴムシと接するとき、自分と同じ生きている物だとの認識を持っているのか？

インターネットの普及によりなんでも簡単にわかる時代になっています。

さらにネットや、ゲーム上で何かを育てる事の疑似体験は出来ますが、ダメだったとしてもリセットすればまた同じように始められます。

ただ、命に関しては、リセットする事が出来ません。命について学ぶには、生きているものと触れ合う事からしか出来ません。それは本物じゃないとできない事ですね。そして痛みを知っている事がとっても重要な事です。

『心が通う会話』についてアズワンでの研究では、自分の経験を通して相手の感情を推察しているそうです。経験したことが無い事は、理解が出来ないものですね。

だからこそネットや、スマホからではなくぜひ本物と触れ合う体験を沢山させてください。

たんぽぽではまず夏野菜や、芋を育てます。出来た物をいただく事でいのちがつながっている事が伝えられると良いなとおもいます。

まだ6月になったばかりなのにもう梅雨入りしたようですね。からだが高い湿度や暑さに慣れていないので、体調を崩してしまう事があると思います。疲れを感じたら、ゆっくり体を休める事が一番大事です。暑さに負けない体つくりのためにも、京子先生の健診の際に一緒に受けられることをお勧めします。

### お願い

- これからは、汗をかくので汗拭き用の**ハンドタオル**と汗を吸う綿等の**天然素材の肌着**(シャツだけより肌着を着た方が汗を吸ってくれるので、体の負担が少ないです)と着替えを多めにお願いします。
- 熱中症予防のためにお茶やお水を多めにお願いします(氷は**必要ありません常温が良い**です)。
- リラックスヨガ申し込み待ちます



**夕飯前の工夫!** 夕方はお菓子ではなく、おにぎりも

お迎えからの帰り道や夕食前に、おなか为空いて、子どもがぐずってしまうことがありますよね。そんなとき、ついお菓子を与えたり、「ちょっと待ってね」と言ってしまうことはありませんか？  
そんなときは、夕飯用のごはんをおにぎりにして出すのも一案です。おなかも少し満たされますし、食事以外の物を食べさせる必要がなくなります。ほかに、こんな方法も……。

**1品だけ先に出す**  
苦手なメニューでも、先に出すとおなか为空いているので、食べてくれることも。

**ふかし芋などのおやつを出す**  
ふかし芋などを冷凍しておき、帰ったら先に出せるようにしておく。

5月の苦情・ご提案について：特にありません

## 今月の目標:すべての命(人・物・自然)にありがとう

- つぼみ組【0歳児】**：一人ひとりの発達に合った生活リズムの中で、**活発に動ける時間を通し、気分転換を図りながら安心して過ごす**。保育者と積極的に関わることを喜ぶ。
- もも組【1歳児】**：梅雨期の衛生に配慮した中で健康状態を見守り、快適に過ごせるようにする。**保育者や友達と一緒に、室内や戸外で好きな遊びを楽しむ**。
- ゆり組【2歳児】**：草花や小動物などに触れて親しみを持つ。保育者に見守られながら、衣服の着脱を自分でやってみようとする。

## 6月の保育内容

### 養護

つぼみ組:梅雨の時期の室温や湿度に配慮しながら健やかに過ごせるようにする。甘えや不安、欲求をその都度受け止め、安定した気持ちで過ごせるように配慮する。

もも組:一人ひとりに余裕を持って対応するよう心掛け、生理的欲求や甘えを満たし、安心して過ごせるようにする。遊びの中で子どもの気持ちを代弁し、お互いが気持ちよく過ごせるよう仲立ちをする。

ゆり組:日陰で遊び、水分補給、休息を充分に取りながら気持ち良く遊べるようにする。友だちとかかわる楽しさを感じられるように、落ち着いた雰囲気を作り、見守ったり、一緒に遊んだりする。

### 教育

つぼみ組:午前睡はその日の様子などにより個別のリズムに合わせてとり、機嫌よく過ごす。発達状態に合わせて離乳食を開始する。スプーンや手づかみ食べなど一人ひとりに合わせる。友達に興味を持ち、保育者に仲立ちしてもらいながら関わろうとする。好きな玩具や遊びを見つけ、繰り返し関わることを楽しむ。天気の良い日は園庭にて裸足で砂の感触を味わう経験をする。

もも組:自分で食べようとする気持ちを大切に、食事が進まない時はさり気なく手を添えて適量を口に運べるように援助する。汗をじんわりかく程度に扇風機やエアコンを利用して室温や湿度を調節し、ちょっとした不快も体験しながら生活できるようにする。汗をかいたら、適度に水分補給を行い、脱水症状にならないよう気をつける。ひとり一人の生活リズムをとらえ、留意する。伝えようとしている声や仕草にうなずき、代弁し、会話が続くよう丁寧に応えていく。遊具は子どもの発達に見合ったものを選び、危険のないよう見守る。雨上がりの水たまりや草花、虫などを見て自然と触れあいながら会話を楽しむ。

ゆり組:感謝の気持ちを持って食事の挨拶をする。夏野菜の観察、水やり、収穫を楽しみにする。手洗いや、口拭き、歯磨きは意識してきれいにしようとする。洋服や靴下など脱ぎ着の仕方を保育者と確認しながら、自分でしてみようとする。絵本や紙芝居を通して言葉のおもしろさを感じる。身近な生き物や草花に興味を持つ。戸外で裸足になって遊び、砂、泥遊びの感触を楽しむ。保育者や友だちと一緒に、音楽に合わせて踊ったり、ハイハイやジャンプ、くぐる、登るなどの全身運動を楽しむ。

6月の歌♪あめふり・にじ・かたつむり・カエルの合唱・あめふりくまのこ他